



ここでは、【先輩里親の声】を紹介します。



## 『大人になったら、一緒に呑もうね』～その日が来るまでの約束～

正直、養子縁組しか考えていませんでした。あの時まで…

里親登録して数年経ったある日、里親担当者が家庭訪問に来ました。その際『育ての親から始まる家族のかたち』について説明を受け、徐々に意識するようになりました。

やがて縁があり、さっくん(3歳・仮名)との交流が始まりました。

交流中の一番の不安はさっくんと仲良くなれるかでしたが、里親担当者等様々な応援もあり、無事に我が家での生活を始めることができました。

一緒に暮らしていて一番うれしいのは、『さっくんと家族になれた』と実感できるようになったことです。はじめは、互いに遠慮もありましたが、今ではお互いが家にいるのが当たり前。『さっくんはうちの子』と自信をもって言うことができます。最近は、晩酌をする私たちを見ながら、『大人になったら、一緒にお酒飲もうね』と言ってくれるさっくん。その日が来るまでお互い元気で過ごそうと夫婦で話しています。

<最後に>

さっくんは私たちの戸籍には入っていないけれど、たしかにこれも家族のかたちだと思います。

里親は単独で子育てするわけではありません。応援してくれる機関があり、私たち家族を理解してくれる関係者の方々が常に見守ってくれます。困ったら助けてくれるし、嬉しいことを一緒に喜んでくれる仲間がいる。

里親制度が世の中にさらに広がることを願っています。

## 週末からはじめた里親

あいちゃん(小4、仮名)が月2回ペースで来るようになり1年くらいが経ちます。あいちゃん、初めは、はしゃぎ回ったりお腹すいたと甘えてみたり、ちょっと幼いところもあったけど、最近はお料理がお気に入り。一緒に作るとあいちゃん大喜びで、それをみる私も嬉しくなって、里親になってよかったなって実感する瞬間です。たくや(実子小2、仮名)もあいちゃんに優しく接するようになり、精神面の成長が手に取るようです。

週末里親を始めた動機は施設の子のためでしたが、こうして考えると、私たち家族にとっても生活の充実度合いが格段にアップしていると感じます。

里親登録から1年半、私も主人も長期の子を受けたい気持ちが日増しに強くなっていきますが、そう簡単にはいかないものです。施設の方や児童相談所の方に気持ちを伝え相談し、良縁が訪れることを心待ちにしています。



### 里親支援機関

全県	秋田赤十字乳児院	TEL 018-884-1760
県北	陽清学園	TEL 0186-66-2104
県央	感恩講児童保育院	TEL 018-845-0483
	聖園天使園	TEL 018-838-1043
県南	県南愛児園	TEL 0182-32-6065

<里親に関する相談・お問合せ>

秋田県フォスティング機関(秋田赤十字乳児院)  
TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762  
<http://akita-nyuji.jrc.or.jp/fostering/>



<担当課>

秋田県健康福祉部  
地域・家庭福祉課  
TEL 018-860-1344